

12  
月号

第335号

# いっしん

平成24年(2012年)

いかにせば  
己が姿の  
直くなる  
神のところに  
そひまつるまで  
甘木親教会  
初代親先生み教

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市  
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 / FAX 020-4665-5653  
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://www.7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki



甘木親教会親先生ご祭詞を奏上

甘木親教会親奥様  
玉串ご奉奠

## 故矢野サダ子大刀自 五十日祭が 仕えられました

十一月十九日、加治木教会で矢野サダ子大刀自の五十日祭が仕えられました。

ご祭主に、甘木親教会 安武道義親先生をお迎えして、甘木親教会手続き教会の先生方が祭員にお着き下さり、教会(家族、信奉者一同で仕えさせていただきました。

ご神前にて奏上祭が仕えられ、ご靈前に転座されたのち靈祭詞を奏上され、故人の功績を称えられるとともに加治木教会を守り導く霊としてのお働きがでえられるよう安心して加治木教会の靈舎に鎮まられるようにというご内容でした。

ご祭主ご挨拶では、四神様のみ教えにあるように、教祖様お国替えの後毎晩ご神前に出てこられて御祈念下さってあったということでありますが、そのようにどちらの教会の靈様もお国替え後、後々のために御祈念下さってあることと思えます、とお話になりました。

矢野サダ子大刀自50日祭 … P1

関係・隣接 教会 記念祭参拝 … P2~P4

み教え … P5

教会行事 … P6

**東郷教会開教  
八十五年記念大祭  
参拝**



東郷教会 記念祭に参拝して  
お祖母ちゃん、親類と

十一月に入り、例年より早く紅葉前線が九州まで南下し秋も深まる中、関係教会教会長の出身教会であります、東郷教会(福岡県の開教八十五年記念大祭)に参拝させていただきました。

東郷教会津上繁子先生(89才)もお元気で、何よりでした。

『東郷教会の記念祭に  
参拝させていただいて』  
有蘭 彰子

十一月四日、東郷教会の開教八十五年記念大祭がありました。

東郷教会の祖母にも会いたかったので、お参りさせてもらいたいと思っていましたところ、健康と車の都合のお繰り合わせをいただき、参拝させてもらうことができました。

記念祭のお話は、若松教会の吉永光代先生がされ、東郷教会の開教当初のお話をされました。

東郷の曾祖父が若い頃に目の病氣にかかり、四国八十八ヶ所や西国三十三箇所を歩いて巡っても良くならなかったのを、金光教の信心のおかげを頂いたことを聞きました。

父からも昔話を聞いたことはありましたが、改めて「私は金光教の教会があつての、神様から頂いた自分の命なのだ」と思いました。

祖父、祖母たちの願いもあつて大きくならせてもらったのだとわかりました。



祖母はこのところ認知症が進み、何度も同じ話をしたりしますが、孫の私たちが東郷教会へ行くといつも大変喜んでくれます。

今私は妊娠九カ月にならせてもらいますが、妊娠してから、両親の思いに気付いたところもあり、願いがあつて生まれ、育ててもらったのだなと思えました。

お腹の子に日々、気付かしてもらっている気がします。

久しぶりに祖母に会えたことがとても嬉しく、夫、隆文も運転の御用ができたので良かったです。

**志布志教会 布教  
八十五年記念大祭  
参拝**

鹿児島県内の銀杏も黄葉が始まり、晩秋の訪れを感じる十一月十八日(日)、志布志教会では布教八十五年記念大祭が伝えられました。



ご教話は、志布志教会の親教会であります都城教会長の桑原一嘉先生で、志布志教会初代教会長先生の入信以来の、ご信心の歩みとご布教に

込められたお祈りについて「一心の信心」という講題で尊いお話がありました。



ご挨拶をされる  
志布志教会 教会長  
馬渡三郎先生

**高千穂教会 布教  
五十五年記念大祭  
参拝**



十一月の最後の日曜日、二十五日、宮崎県高千穂教会の布教五十五年記念大祭に参拝させていただきました。加治木教会の先代政美親先生と高千穂教会の先代田中正利先生は、甘木親教会での修行生仲間が仲が良く、ずっと記念祭のお付き合いをされて

ありました。

また、その次の代の今も甘木親教会での修行生仲間で、記念祭のお付き合いが続いています。

高千穂町は、天孫降臨の地で、高千穂峡でも有名な観光地でありますが、これといった雇用を生み出す産業がなく人口過疎地です。

そのような土地での布教は、まさに荒地布教で、今も大変なご苦労が続いています。

しかし、現教会長先生は、「わかば学習会」という学習塾の形をもって教会で青少年の育成教化を進めるといふ、青少年育成活動に力を注いであります。

長年努力と辛抱を重ねられ、だんだんと若者が育ってきているのが目に見えてわかる記念祭でした。

松田正樹さんが車を出して下さり、九州山地



の山間の黄葉を見ながら、五人で高千穂教会の記念祭参拝をさせていただきました。また、高千穂峡の紅葉も大変きれいでした。

※親教会、隣接・関係教会の御大祭や記念祭に参拝させていただいて、それぞれの教会で御礼喜びを捧げられるようすを伺い、ご教話を拝聴させていただき、私達の信心の向上のための参考にさせていただき勉強をさせていただきましよう。

11月

- 1(木) ●報徳月例祭 10時半
- ” ” ▼三十日祭 (大野さや子)
- 4(日) 東郷教会開教会90年記念大祭
- ” ” 西鹿児島教会115年記念大祭 12時
- 9(金) 斎掃御用 10時
- 10(土) ●斎掃月例祭 10時半
- ” ” ▼二十日祭 (大野さや子)
- ” ” 加治木教会御大祭前御用奉仕
- 11(日) 加治木教会御大祭 11時
- 15(木) 連合会執行部会(上席) 10時半
- 18(日) 朝参拝日 6時
- ” ” 鹿児島教会御大祭 11時
- ” ” 志布志教会布教85年記念大祭
- 19(月) ▼五十日祭 (大野さや子)
- 21(水) 斎掃御用 10時
- 22(木) ●月例祭・共励会 13時半
- ” ” ●夜の月例祭 (斎掃御用) 20時
- 25(日) 高千穂教会布教55年記念大祭
- 30(金) 斎掃御用 10時

ご霊神様のおまじり

十二月

- 吉屋正憲 之霊神(2日) 平成11年
- 本中野キン 之霊神(7日) 昭和10年
- 大山キク 之霊神(7日) 平成7年
- 小屋敷シゲ 之霊神(7日) 平成8年
- 柳園市次郎 之霊神(8日) 昭和25年
- 本中野重盛 之霊神(8日) 昭和39年
- 徳永盛常 之霊神(18日) 平成2年
- 大山スエケサ 之霊神(24日) 昭和51年
- 大山きよ子 之霊神(28日) 昭和43年
- 吉屋キミ 之霊神(30日) 平成22年



「先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

甘木親教会初代親先生

安武松太郎師のみ教え

信心といえは、病気が治つたり、災難を免れたり、または心の悩みなどをお願ひ申し上げて、そのおかげを頂くことを、信心の目的のようになんて思ひますが、少なくて思ひますが、これは、信心の門に入る動機となるもので、それが信心ではありません。

『神はわが本体の親ぞ、信心は親に孝行するも同じこと』

(教祖金光様ご神訓)

『信心は本心の玉を磨くものぞや』

(教祖金光様ご神訓)

『若い者は本心の柱に虫を入らせなよ』

(教祖金光様ご神訓)

と、明確に、信心の道のみ教えくださされておるのであります。

病気が治る、災難から免れるなどのおかけを蒙ることは「入心の門」であり、神様のほんとうの願ひは、この先にあると言えます。

さらに、永遠に尽きないおかげというものも「入心の門」の先にあります。

「おかけを頂く」ことを願つても「自己中心」であるか「親神様中心」であるかということ、後々に大きな差がでてきます。

親子の関係でいえば、親に助けを求め子どもに、▼「僕だけ楽になればいいから僕だけ助けて(兄弟のこととは知ったことじゃない)」という子どもと、▼「僕のことよりも兄弟のことを先に助けて(僕のこととは後でいいから)」という子どもがいたならば、どちらが尊い子どもでしょうか。

将来このような子どもに育つてもらいたいと願うならば、後者のような子どもでありましょう。

ただ自分だけ、また目先の、おかけを頂きたいというような願ひでは、知らず知らずのうちに、人も親も神

様もいつの間にか、おかけを頂くため・自己実現・目標達成のための道具のように使つてしまふことになりやすいでしょう。

親神様が望まれる子どものあり方は、まず兄弟のため、家族のため、みんなのためを広く深く考え、大切にして、親の愛情のような心で見に行くことのできる子どもでしょう。

そのような神様の子ども(氏子)になる、信心になることを心がけることが「親神様中心」の信心といえます。

愛も無限・力も無限の親神様の、心に添う生き方ができるように心を研ぎ鍛え稽古をして、無限で広大無辺の親神様の、ご信頼に支えられ裏打ちされた、永遠に尽きないおかけを蒙つて行つてこそ、親神様はご安心なされることでありましょう。

「自己中心」であれば、志も小さく、願ひも小さく、おかけも小さく、そのおかけが続く保障期間があったとすれば、も小さく小さくなつてしまつて当然でしょう。

(教会長)

十二月四日(火)

出発午前七時 帰着午後六時頃の予定

甘木親教会

生神金光大神御大祭参拝

十二月二十二日(土) 十六時より  
少年少女会・信徒会

歳末感謝パーティー

会費 大人一〇〇〇円・中高生七〇〇円・小人四〇〇円

プレゼント交歓会…一人、二〇〇〜三〇〇円相当の  
プレゼントを用意して下さい(新品不用品可)

十二月三十日(日) 十三時半より

加治木教会

越年祭 奉行

越年祭、御礼・お願いの記入用紙を  
ご記入の上、御結界にお届け下さい。

一月一日(祝) 正午より

加治木教会

元日 祭 奉行

「祭典・教話後、福引。」

一月五日〜二月四日

寒中一斉信行

ご祈念・研修 午前五時二十分・午前十時  
ご祈念のみ 午後四時・午後九時

教会行事

12月

1(土) ●報徳月例祭 10時半

併せて 立教記念祭・新穀感謝祭後、納骨)

” 吉屋家霊祭

3(月) 甘木親教会御大祭 第一日

4(火) ●甘木親教会御大祭 第二日参拝

9(日) 斎掃御用 10時

” 御本部布教功労者報徳祭

10(月) ●生神金光 月例祭 10時半  
大神様

13(木) (連) 布教協議会 (上荒田) 10時半  
教会

16(日) 朝参拝日 6時

21(金) 斎掃御用 10時

22(土) ●月例祭・共励会 13時半

” ●感謝パーティー 17時より

29(土) 斎掃御用 10時

30(日) ●越年祭 13時半

※若婦人会 13時半 (未定)

☆少年少女会・青年会・若婦人会は、都合により日  
程の変更や、決まりしだい連絡することがあります。

十二月十六日(日) 午前六時

朝参拝日 毎月 第三日曜

家族そろっておかげを蒙らせて  
いただくことを目標にしましょう。

平成二十五年

1月

1(祝) ●元日祭 正午

3(木) 甘木親教会年頭参拝

6(日) 少年少女会 10時半

9(水) 斎掃御用 10時

10(木) ●生神金光 月例祭 10時半  
大神様

17(木) 若婦人会 13時半

20(日) 朝参拝日 6時

21(月) 斎掃御用 10時半

22(火) ●月例祭・共励会 13時半

” ●夜の月例祭 (若者・高齢者向け) 20時

24(木)〜26(土)

少年少女会連合本部 理事会

27(日) 連合会定期総会 (鹿兒島) 10時  
教会

31(木) 斎掃御用 10時半

一月六日(日) 十時半より

少年少女会

鏡開き

七草たこやきと  
お餅を焼こう。

加治木教会 バンド練習会

来年六月十六日(日)加音ホール 小ホールで  
連合会教祖百三十年大会が開かれます。  
みんなで発表できるように練習しましょう。